

「高齢者医療費2倍化法案」、参院で審議入り

「今やるべきは負担軽減と免除」 【倉林参院議員 25日、厚労委員会】

25日、「高齢者医療費2倍化法案」が厚生労働委員会で実質審議入り。
倉林明子参院議員は、2割負担導入時に深刻な受診抑制が起こった事実を示すとともに、自身の看護師時代に、「貧困から受診をためらい、治療が間に合わなかった人がいた」との事例を紹介。「皆保険のなかで、助かる命さえ救えない事態を拡大しかねない。負担増で受診抑制を促すことは、やるべきでない」「今やるべきは負担の軽減・免除制度をつくること」と追及しました。



株式高速取引に重大な懸念 【大門参議院議員 18日、財政金融委員会】



大門みさし参院議員は、18日の財政金融委員会で、株式市場で影響を強めている高速取引業者(アルゴリズム取引で1秒間に千回以上の高頻度で売買する金融業者)の問題点をたどりました。大門議員は、若者のスマホでの株投資が急増していると、「素人の投資家がプロ集団に食べ物にされていないか」と質問。金融庁の古澤企画市場局長が「市場の安定性・効率性、投資家間の公平性という点で懸念」と答弁しました。

大門議員がさらにSB I証券が顧客の株式売買注文の情報を高速取引業者向けに開示したため、顧客が先回りされた事例に基づきただと、麻生金融担当大臣も「さらに技術が進むと恐ろしい。実態を把握して対応したい」と答えました。

石炭火電の政府対応を批判 【山下参院議員 25日、環境委員会】

山下よしき参院議員は、25日の環境委員会で、G7気候・環境大臣会合の共同声明に「石炭火力発電を全廃する」との文言がないと指摘し、「(全廃に)日本が反対」との報道についてたどりました。

資源エネルギー庁の小野政策統括調整官は、「交渉過程や議論の詳細は控える」と回答せず、山下議員は「(G7で期限を区切った廃止方針を持っていないのは日本だけで)全廃に反対する必然性があるのは日本しかない」と批判しました。

また、政府が「高効率」石炭火力であれば、輸出支援ができるとしていることに関し、「『高効率』というごまかしで例外を設けて、国内でも作り、輸出もするということはやめるべき」と迫りました。

イージス搭載艦の経費膨張ただす 【井上参院議員 25日、外務防衛委員会】

井上さとし参院議員は、25日、外交防衛委員会で、「イージス・システム搭載艦」2隻の総コストが少なくとも9000億円近くとする「内部文書」、また、搭載艦について複数の船体をつなげた「多胴船」型にする案を検討し、民間事業者に調査研究を委託するとの報道について質問。

防衛省の土本整備計画局長は、「(経費について)今後の検討議論に予断を与えるため公表することは困難」、また、多胴船については「(現時点で)検討している事実はない」としつつ、「耐用性を重視した艦の設計について技術支援を得ることを目的として契約を結んだ」と答弁。

井上議員は、内部文書の存在を認め、多胴船の可能性も否定しなかったと指摘し、「経費はさらに膨れ上がる可能性がある」として計画の中止を求めました。

21近畿ブロック事務所ニュース
Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115
【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

【近畿選出国會議員の質問】

近畿選出議員の質問概要を随時お伝えします。

No. 30(2021.5.28)

